

令和2年度第1回 北海道地方競馬運営委員会

資料4

ホッカイドウ競馬をめぐる情勢

令和2年8月7日(金)
北海道農政部競馬事業室

【目次】

I	顧客環境		1
1	人口		1
2	インターネット利用		1
3	余暇市場		2
4	入場者数		3
II	馬資源と競走		5
1	生産状況		5
2	在きゅう馬頭数		6
3	2歳馬の入きゅうと転きゅう		8
4	競馬開催成績		9
III	経営構造等		10
1	収入の内訳		10
2	ネット投票、賭式の内訳		10
3	場外発売所の発売状況		11
4	単年度収支・報償費		12
IV	経営資源		13
1	関係者数		13
2	門別競馬場の主な施設の整備年		14

I 顧客環境

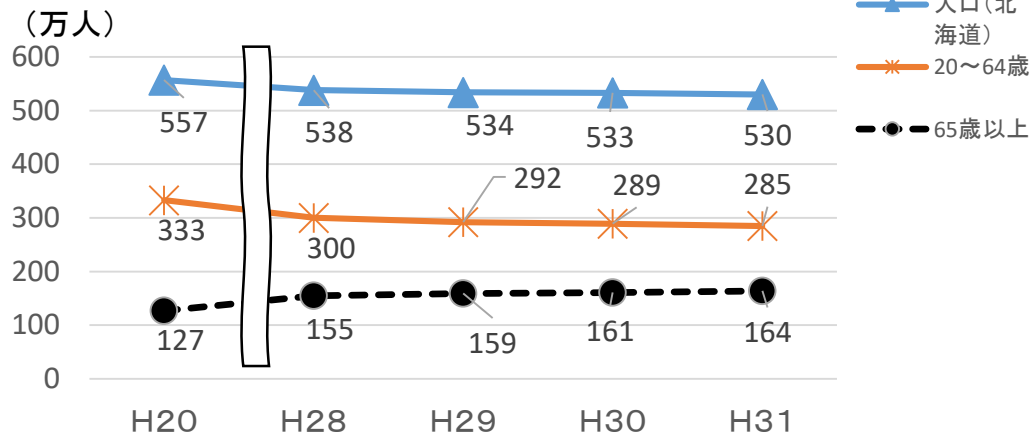
1 人口

- 北海道の人口は、少子高齢化の中で年々減少。
- 20～64歳が減少する一方で、65歳以上が年々増加。

2 インターネット利用

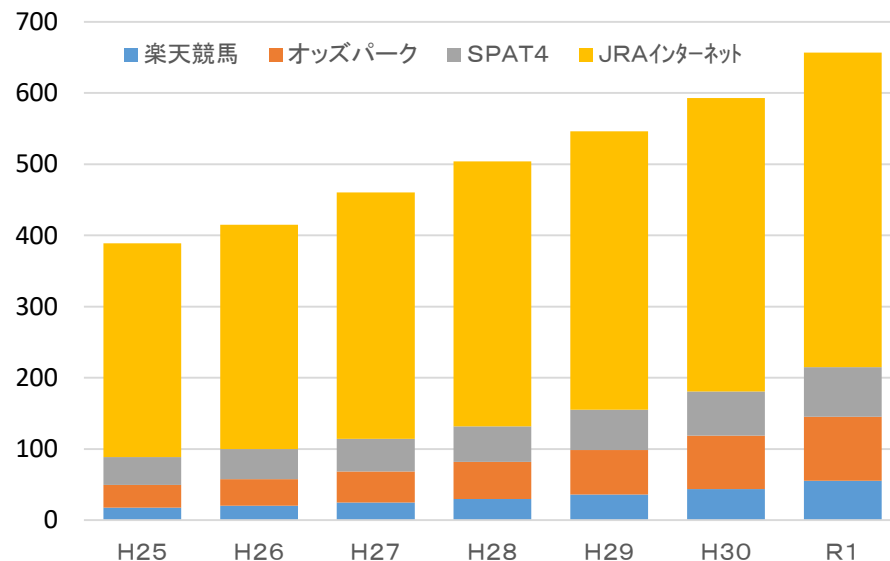
- ネット利用はほぼ全人口に普及。
- 携帯電話（フィーチャーフォン）は減少し、スマホへ移行。P
C以上にスマホでネット利用する時代に。
- ネットでの馬券購入（在宅投票）は、加入者が毎年増加。絶
対数はJRAが圧倒的に多いが、「楽天競馬」や「オッズパー
ク」の方が近年の伸び率は高い。

□ 北海道の人口の推移

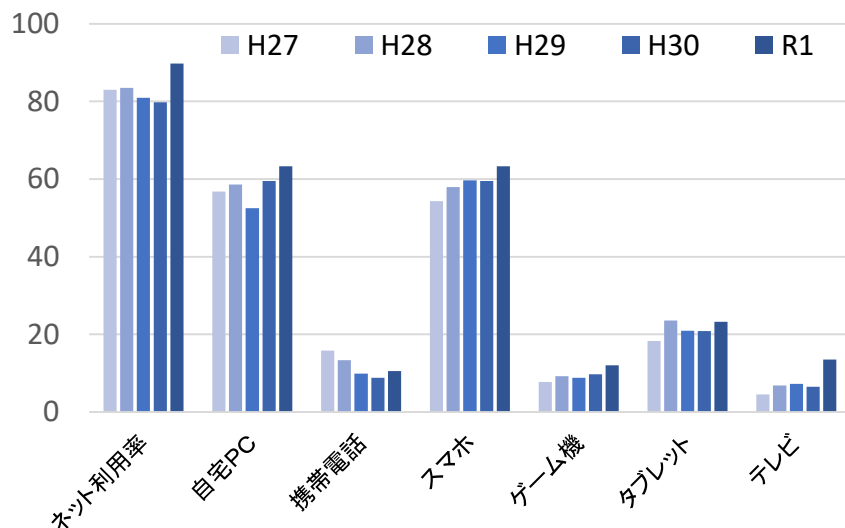


資料:住民基本台帳(外国人を除く)

□ 在宅投票システム利用者数 (万人)



□ 利用端末の推移(%)



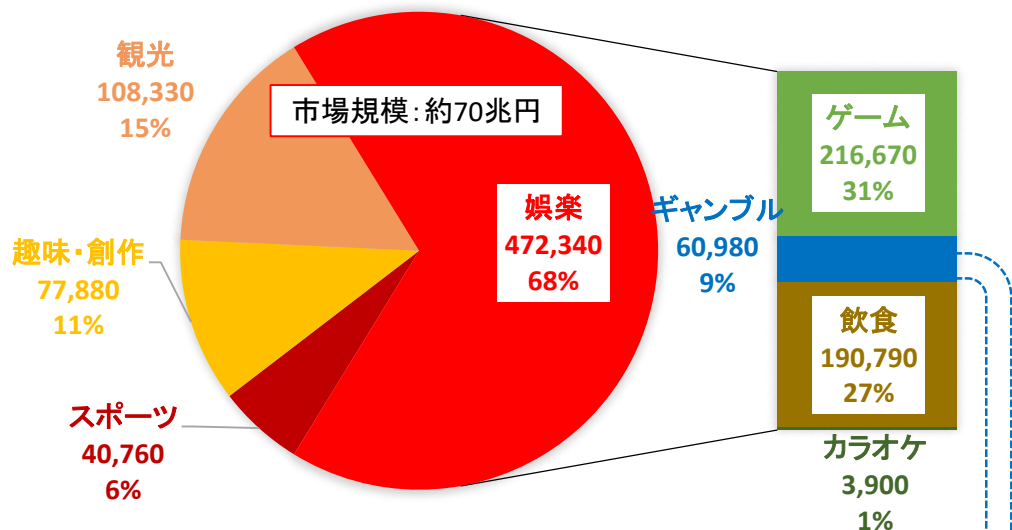
3 余暇市場

- レジャー白書によると、H29年度の余暇市場の規模は約70兆円。そのうち、ギャンブルは約6兆円(全体の9%)。

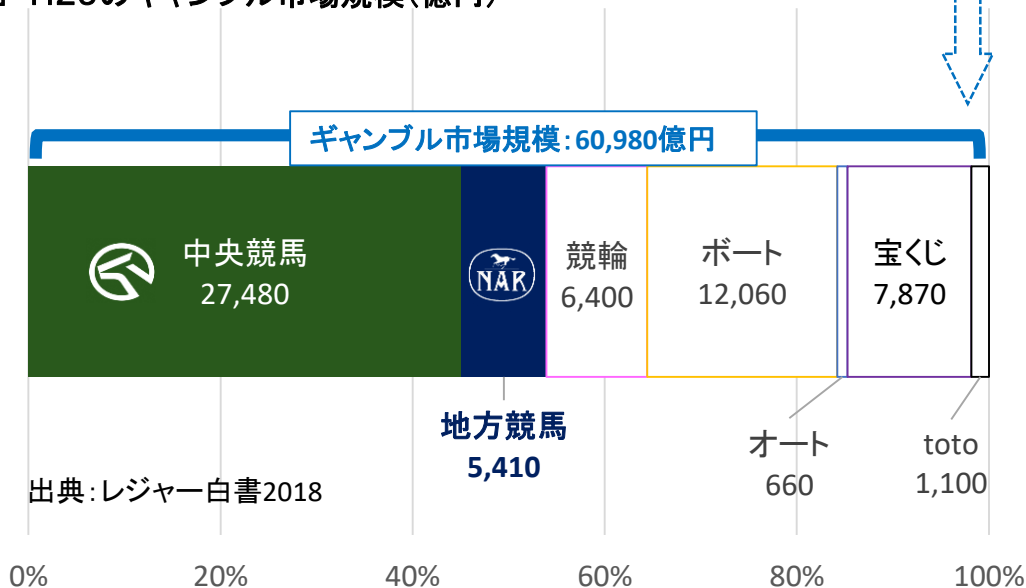
- ギャンブル市場全体は、近年は前年比100%を超えており、伸びている。(2018レジャー白書)
- ギャンブル市場は、「競馬」が過半を占めるが、その大半は中央競馬(2兆7千億円)。
- 地方競馬は近年、発売額が伸びてきているが、中央競馬と比べると、市場規模は小さい。

□ H29の余暇市場（億円）

出典：レジャー白書2018



□ H29のギャンブル市場規模(億円)

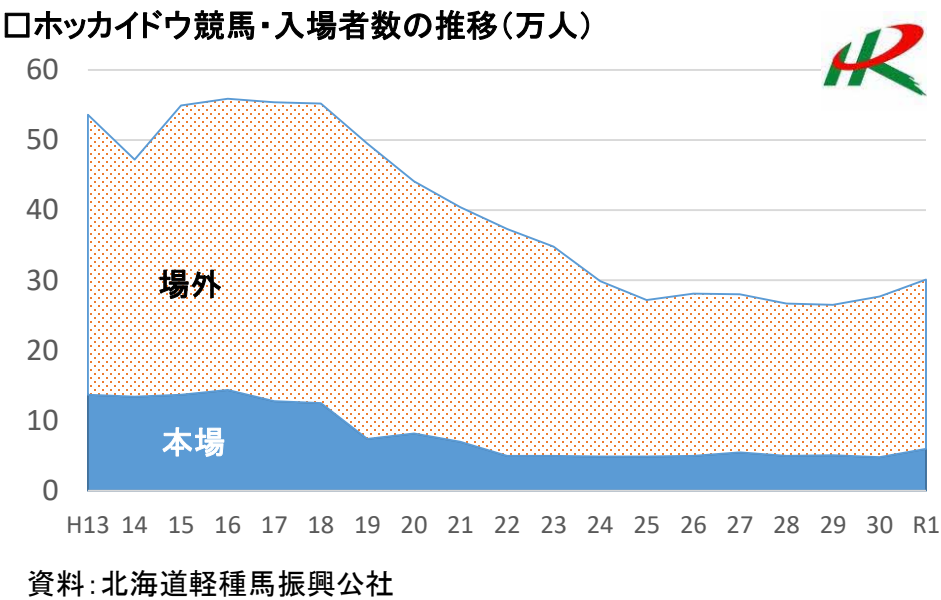


出典：レジャー白書2018

4 入場者数

(1) ホッカイドウ競馬

- 競馬場、場外発売所ともに入場者数は年々減少していたが、H28以降は増加傾向。
- 各場外発売所で、入場者数が多いのは「札幌中央」と「石狩」。どちらも競馬以外の公営ギャンブルが併設されている発売所。



□ 発売所別入場者数(ホッカイドウ競馬) (単位: 人)

区分	門別	旭川	岩見沢	くしろ	登別 室蘭	静内	苫小牧	小樽	滝川	浦河	中標津	札幌 中央	札幌 駅前	千歳	函館 港町	江別	石狩	合計
H22	50,418	34,731	14,513	17,699	18,502	10,183	18,195	9,160	7,482	6,108	3,273	24,077	36,030	11,142	12,097	20,264	27,596	373,840
H23	49,879	28,151	13,511	13,454	16,374	9,890	16,355	9,183	7,011	5,732	3,639	19,877	36,019	11,332	10,620	19,133	26,732	348,008
H24	49,120	24,034	13,058	10,708	14,073	8,896	14,709	7,737	5,650	5,399	3,317	17,619	32,373	10,517	9,855	17,197	24,514	299,564
H25	48,567	20,845	8,752	15,684	13,949	13,197	13,988	7,419	4,805	5,687	3,342	19,612	29,542	11,218	10,109	17,619	27,530	271,865
H26	49,541	22,350	9,478	15,672	13,937	13,188	14,095	7,381	4,403	8,467	4,165	18,490	30,951	10,804	12,136	17,106	28,023	280,187
H27	55,284	23,194	12,745	17,178	13,513	14,477	14,838	6,482	5,653	8,637	4,628	27,159	0	11,087	16,974	18,409	29,724	279,982
H28	50,006	21,008	11,034	17,556	13,776	13,310	14,659	6,167	4,326	7,942	4,928	27,786	0	12,451	14,669	17,579	30,342	267,539
H29	51,704	21,489	9,143	17,908	13,475	14,856	13,959	5,715	3,688	7,996	5,347	27,788	0	11,522	14,546	15,437	31,405	265,978
H30	48,048	17,934	7,976	16,748	17,574	16,965	12,977	5,777	7,558	8,390	5,606	29,874	6,398	11,630	15,419	17,648	30,604	277,126
R1	59,545	7,626	6,170	17,390	17,243	16,024	13,793	5,501	9,806	8,346	5,714	34,202	21,752	11,643	17,134	17,668	31,598	301,155
R1/H22	118%	22%	43%	98%	93%	157%	76%	60%	131%	137%	175%	142%	60%	104%	142%	87%	115%	81%
R1/H30	124%	43%	77%	104%	98%	94%	106%	95%	130%	99%	102%	114%	340%	100%	111%	100%	103%	109%

資料: 北海道軽種馬振興公社「競馬成績」、注: H24までAiba琴似、H23までは帯広競馬場で発売していたが、合計欄にはそれぞれの発売額を反映している

(2)主催者別入場者数

- 各場外発売所ではホッカイドウ競馬のほか、JRAや他地方競馬の馬券も発売。
- JRA開催日は土日のため圧倒的に入場者数が多い。他地方競馬は一日当たりの入場者数は少ないが、冬期間も発売できるため、年間の入場者数ではホッカイドウ競馬より多くなる。

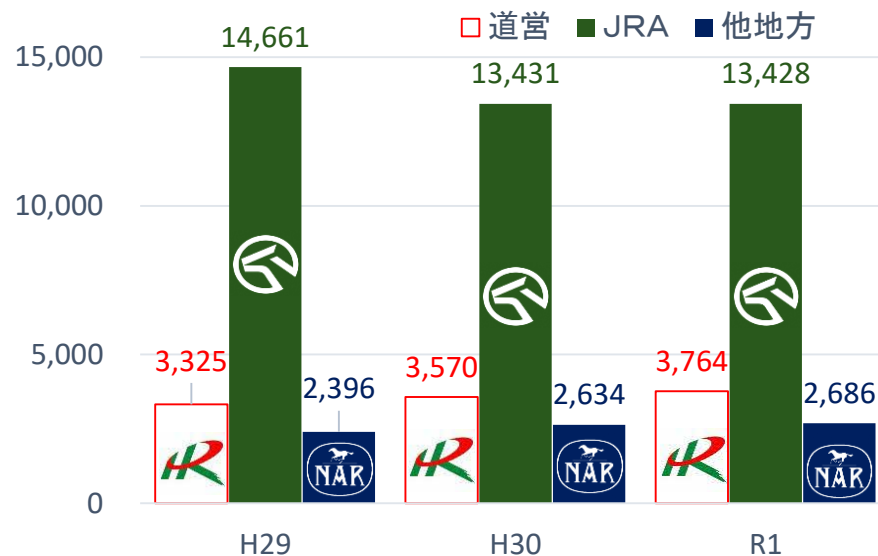
□ 各場外発売所の入場者数

(単位:人、日)

区分	平成30年度			R1年度		
	全体数	開催 日数	1日 当たり	全体数	開催 日数	1日 当たり
道営	271,337	76	3,570	301,155	80	3,764
JRA	1,383,407	103	13,431	1,289,117	96	13,428
他地方	466,131	177	2,634	419,002	156	2,686
合計	2,120,875	356	5,958	2,009,274	332	6,052

資料:北海道軽種馬振興公社「競馬成績」、注:「道営」はホッカイドウ競馬開催期間中の火水木が基本、「他地方」はホッカイドウ競馬開催日以外の平日、JRAはJRA開催日(土日祝日)を基本。なお、土日祝日においては、JRAに加え地方競馬も発売、道営開催日においても他の地方競馬も発売しているが、上記は便宜上、JRA開催日は「JRA」、平日の非道営開催日は「他の地方競馬開催日」とした。

□ 場外発売所の1日当たり入場者数



□ 発売所別・主催別入場者数(R1年度)

(単位:上段:年間入場者数、下段:1日当たり)

区分	門別	旭川	岩見沢	くしろ	登別 室蘭	静内	苫小牧	小樽	滝川	浦河	中標津	札幌 中央	札幌 駅前	千歳	函館 港町	江別	石狩	合計
道営	59,545	7,626	6,170	17,390	17,243	16,024	13,793	5,501	9,806	8,346	5,714	34,202	21,752	11,643	17,134	17,668	31,598	301,155
	744	95	77	217	216	200	172	69	123	104	71	428	272	146	214	221	395	3,764
JRA	46,894	77,516	62,401	107,998	112,337	77,197	95,155	53,721	45,461	37,120	32,693	48,913	17,318	48,757	148,232	89,726	187,678	1,289,117
	488	807	650	1,125	1,170	804	991	560	474	387	341	510	180	508	1,544	935	1,955	13,428
他 地方	5,141	13,591	10,962	32,131	28,753	25,971	23,667	10,943	17,700	11,917	10,453	52,498	34,088	21,471	40,952	29,096	49,668	419,002
	33	87	70	206	184	166	152	70	113	76	67	337	219	138	263	187	318	2,686
合計	111,580	98,733	79,533	157,519	158,333	119,192	132,615	70,165	72,967	57,383	48,860	135,613	73,158	81,871	206,318	136,490	268,944	2,009,274
	336	297	240	474	477	359	399	211	220	173	147	408	220	247	621	411	810	6,052

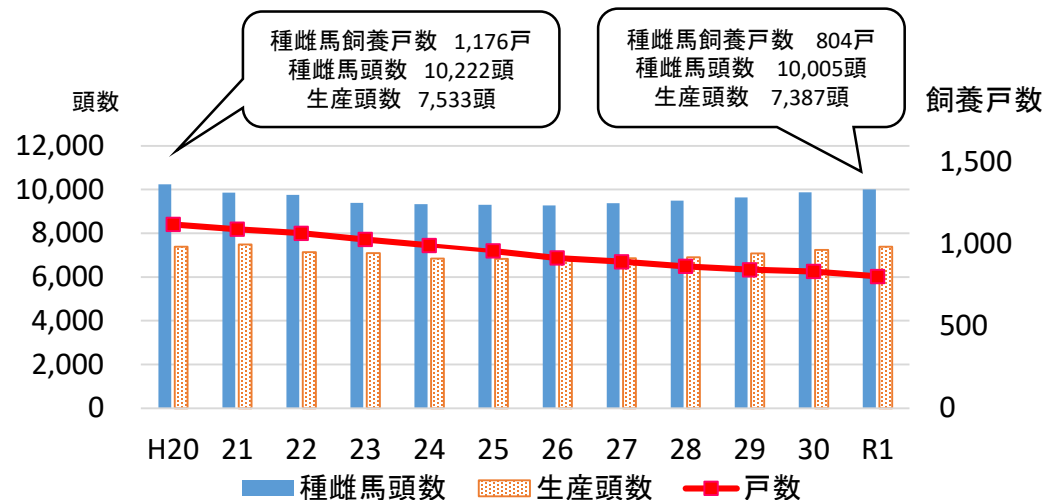
資料:北海道軽種馬振興公社「競馬成績」

Ⅱ 馬資源と競走

1 生産状況

- 日本は、世界で第5位の軽種馬生産大国。
- 軽種馬の種雌馬飼養戸数は、減少を続け、令和元年は804戸。
そのうち日高管内が85%を占める683戸。
- 種雌馬頭数は近年横ばいで、令和元年は10,005頭。
そのうち、日高管内が7,815頭(78%)、胆振管内が1,925頭(19%)。
- 平均セリ価格(1歳)は年次で変動するが、近年は微増傾向で、令和元年は1,124万円。

□ 全国の種雌馬飼養戸数、頭数、生産頭数



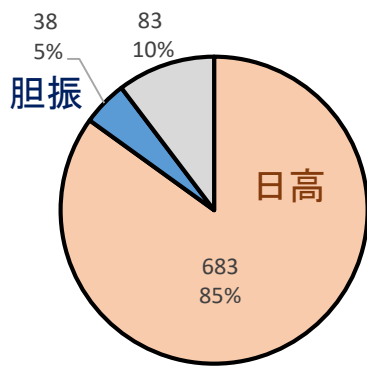
資料: 日本軽種馬協会「軽種馬統計」

□ 世界の軽種馬生産状況 (単位: 頭)

順位	区分	2017	構成比
1	米国	20,900	21.9%
2	豪州	13,823	14.5%
3	アイルランド	9,689	10.2%
4	アルゼンチン	7,586	8.0%
5	日本	7,081	7.4%
6	フランス	5,460	5.7%
7	英国	4,674	4.9%
8	NZ	3,463	3.6%
-	世界計	95,236	100

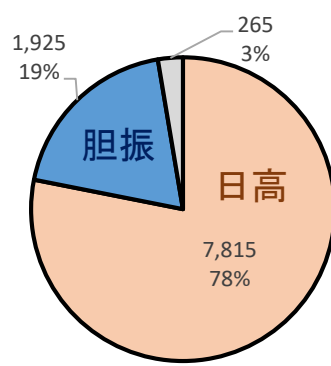
資料: ジャパンスタッドブックインターナショナル

□ 全国の種雌馬飼養牧場数 (R1 合計804戸)



□ 日高 □ 胆振 □ その他

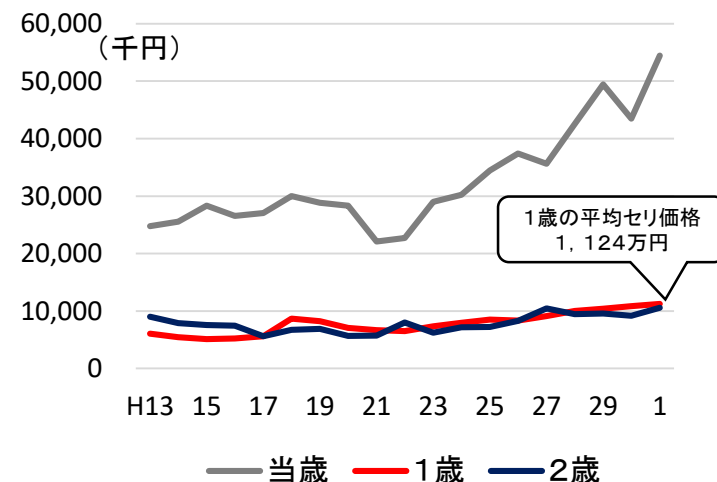
□ 全国の種雌馬頭数 (R1 合計10,005頭)



□ 日高 □ 胆振 □ その他

資料: 日本軽種馬協会「軽種馬統計」

□ セリ価格の推移

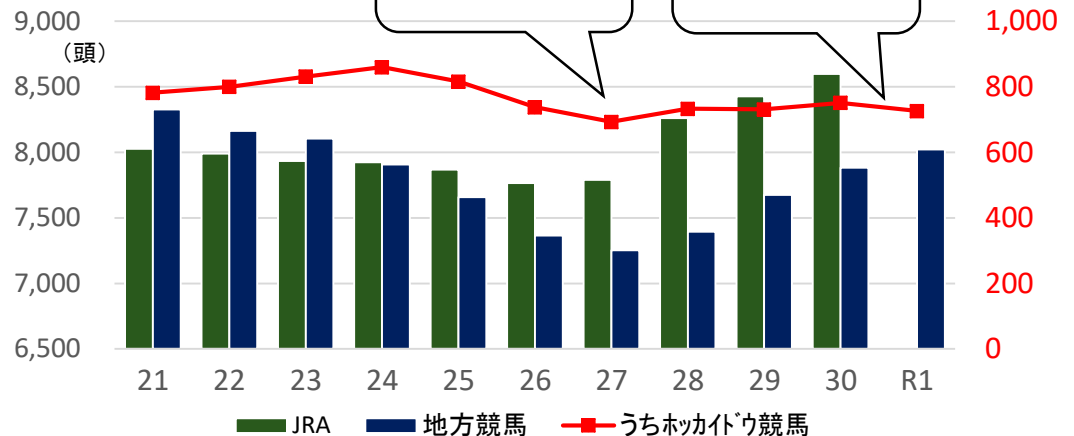


資料: 日本軽種馬協会「軽種馬統計」

2 在きゅう馬頭数

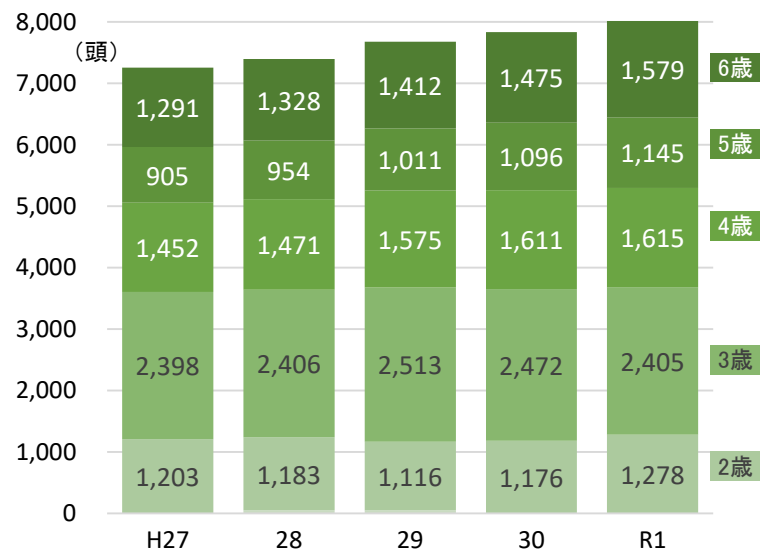
- H27年度までは、JRA、地方ともに頭数が減少。
- H27を境に、頭数は増加に転じたが、増加割合はJRAの方が大きく、地方はあまり伸びていない。ホッカイドウ競馬も減少に歯止めがなかったが微増～横ばいで推移している。
- 地方競馬の在きゅう頭数を年齢別に見ると、近年は主に4歳以上の増加割合が大きい。
- 主催者別の在きゅう頭数は大井と兵庫が多く、北海道は700頭程度の中規模だが、2歳馬の割合が高いことが特徴。

□ 在きゅう馬頭数の推移



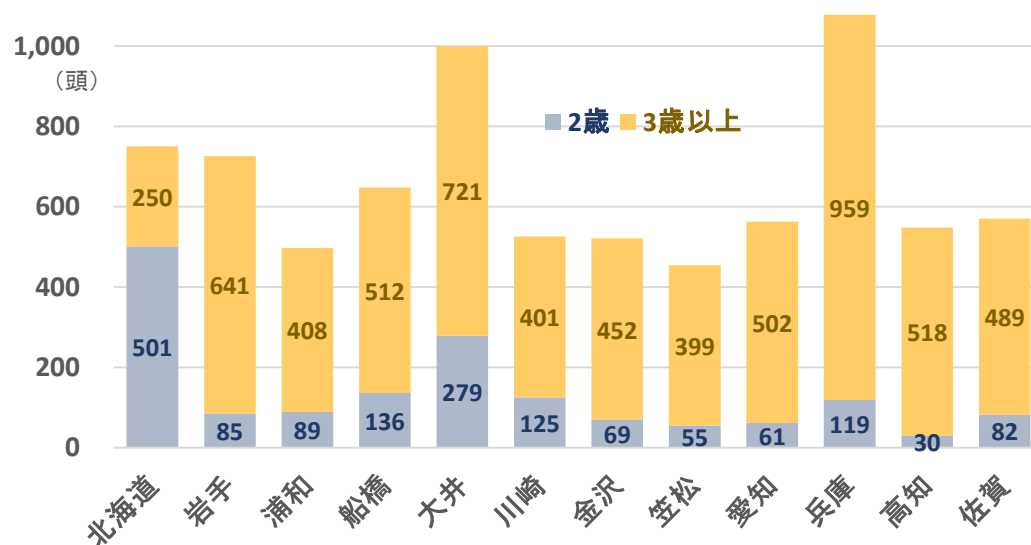
資料：地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」、「日本中央競馬会事業報告書」

□ 地方競馬の年齢別在籍頭数



資料：日本軽種馬協会発行「軽種馬統計」

□ 地方競馬各主催者の在きゅう馬頭数の内訳(H30)

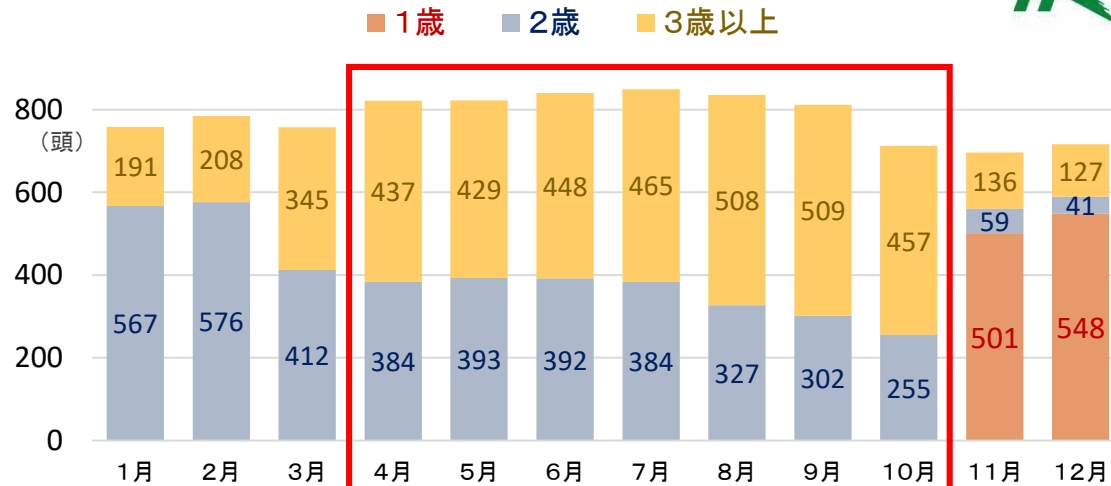


資料：地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」(11月1日現在)

□ ホッカイドウ競馬の在きゅう頭数(R1)



- ホッカイドウ競馬では、11月の競馬終了後に1歳が入きゅうし、翌年の2歳戦に出走。
- 春先は2歳馬の割合が多く、活躍した2歳馬が他場へ転きゅうし、夏以降は3歳以上の馬が多くなるが、総頭数は少なくなる傾向。



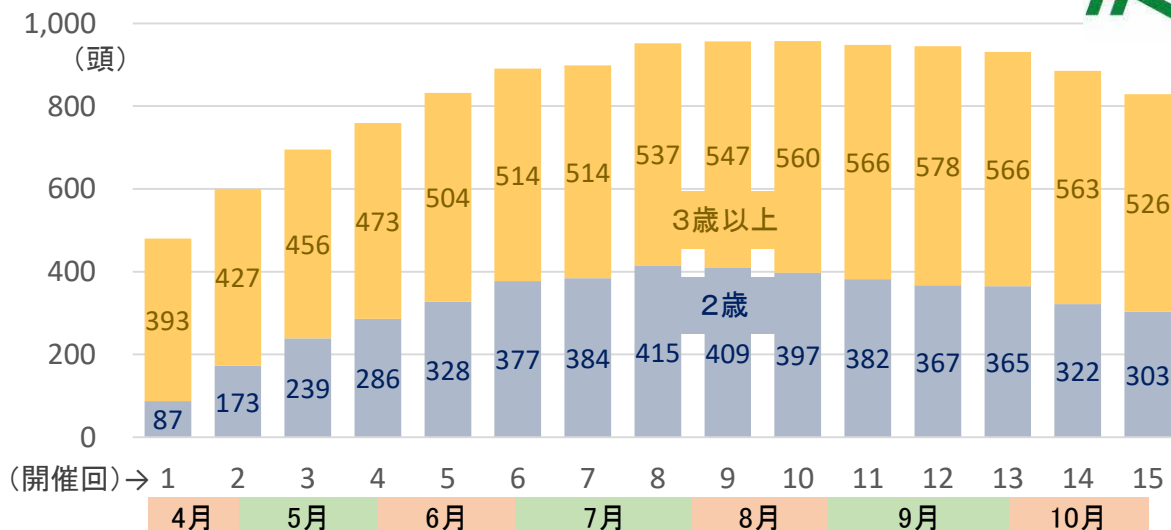
資料: 北海道軽種馬振興公社

ホッカイドウ競馬開催期間

□ 1年間の出走申込頭数推移(R1)



- 春先は出走申込み頭数が少なく、出走頭数を十分に確保することができず、頭数の少ない番組が多くなる。



3 2歳馬のいきゅうと転きゅう

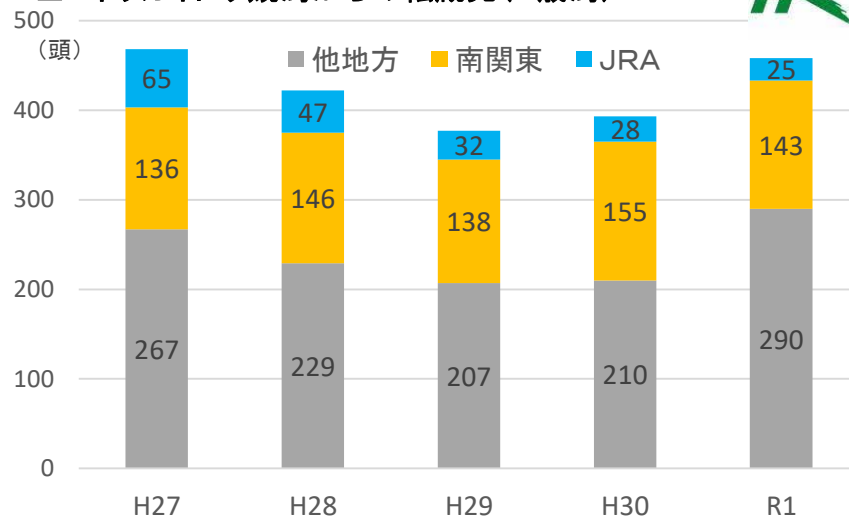
- ホッカイドウ競馬の2歳馬は、毎年500～600頭前後が登録される。
- このうち、7割以上がJRAや他の地方競馬に転きゅうする。
近年はJRAへの転厩割合が減り、地方競馬への転厩が多くなってきている。
- 調教用坂路の整備により2歳馬を中心に強い馬が輩出され、南関東など他の地方競馬に転きゅうする頭数が多く、競馬開催に必要な馬の確保が課題。

□ 2歳馬のいきゅう頭数と出走頭数

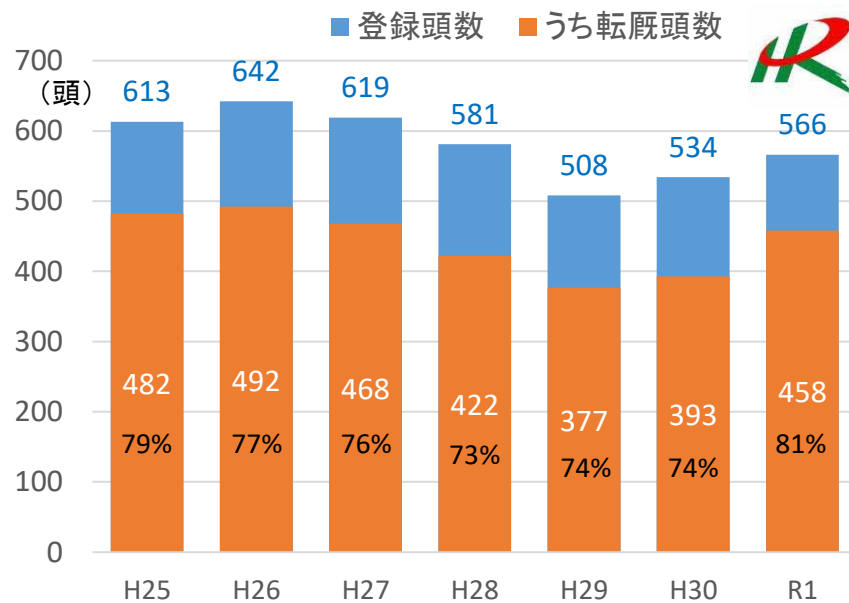
区 分		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
いきゅう頭数 (登録頭数)		613	642	619	581	508	534	566
出走頭数		486	505	474	444	416	430	491
未 出 走	能力検査済	85	83	78	75	62	56	
	能力検査未	42	54	67	62	30	48	

資料：北海道軽種馬振興公社「競馬成績」

□ ホッカイドウ競馬からの転厩先(2歳馬)



□ 2歳馬の転厩割合



4 競馬開催成績

- H28以降、馬の頭数が少しずつ増えてきており、それに伴いレース数も増え、入場者数の回復に繋がっている。
- 北海道は1レース当たりの出走頭数が少ない。南関東の競馬場は多頭数でのレースが行われている。

□ 近年の競走成績

年度	開催 日数	入場人員 (人)	競走 回数	1日 当たり 競走 回数	出走延頭数(頭)			年間実出走頭数(頭)			
					年間 合計	1日 平均	1R 当たり	総数 (うち交流)	うち 2歳	うち 3歳	うち 4歳 以上
H22	80	378,192	852	10.7	8,325	104	9.8	1,327 (136)	540	395	392
H23	80	348,128	914	11.4	8,787	110	9.6	1,330 (112)	525	384	421
H24	80	299,564	933	11.7	9,433	118	10.1	1,379 (104)	521	404	454
H25	79	271,865	891	11.3	8,777	110	9.9	1,244 (81)	494	321	429
H26	80	280,187	910	11.4	8,778	110	9.6	1,234 (72)	514	327	393
H27	80	279,982	905	11.3	8,689	109	9.6	1,201 (74)	482	333	386
H28	80	267,539	888	11.1	8,063	101	9.1	1,128 (57)	451	323	354
H29	80	265,978	900	11.3	8,175	102	9.1	1,130 (59)	424	325	381
H30	76	277,126	873	11.5	8,231	108	9.4	1,226 (69)	438	372	416
R1	80	301,155	952	11.9	9,275	116	9.7	1,327 (63)	499	381	447

資料: 北海道軽種馬振興公社

□ 1R当たりの出走頭数

(単位: レース)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
門別	9.9	9.6	9.1	9.1	9.4
盛岡	9.7	8.7	8.8	9.0	9.2
水沢	9.5	8.6	8.8	8.9	9.2
浦和	11.3	10.9	10.9	11.0	10.9
船橋	11.6	11.0	11.0	11.0	10.9
大井	13.1	12.6	12.4	12.6	12.8
川崎	12.0	11.3	11.1	11.0	11.0
金沢	10.0	9.5	9.6	9.1	9.2
笠松	9.3	8.5	8.6	8.6	8.6
名古屋	9.1	8.8	8.8	9.0	9.0
園田	10.5	10.2	10.1	10.0	10.1
高知	9.6	10.1	10.2	10.2	10.0
佐賀	8.5	8.5	8.5	9.6	9.4
計	10.2	9.9	9.8	9.9	10.0

資料: 地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」

○ これまでの取り組みにより、近年は馬の頭数が増え、7頭以下の少頭数のレースが減り、11頭以上のレースが増えてきている。

□ 1レースの出走頭数

	7頭以下	8～10頭	11～12頭	13頭以上
H28	24%	51%	24%	1%
H29	21%	56%	22%	1%
H30	17%	51%	31%	1%
R1	16%	45%	36%	3%

資料: 地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」

Ⅲ 経営構造等

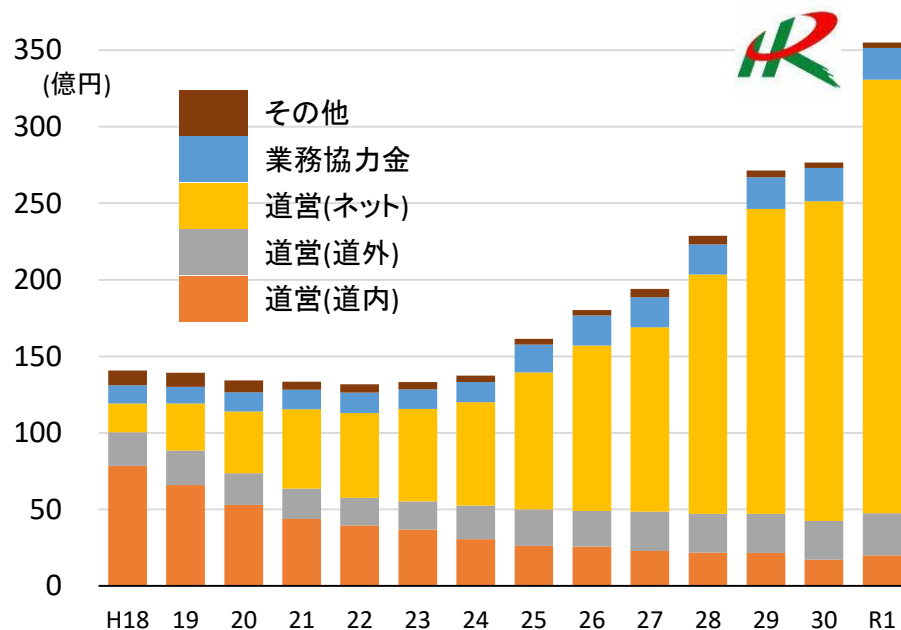
1 収入の内訳

- H20以前は、場外発売所での現金発売が主だったが、ここ10年でネット発売が急進し、それにより全体の発売額も伸びてきている。

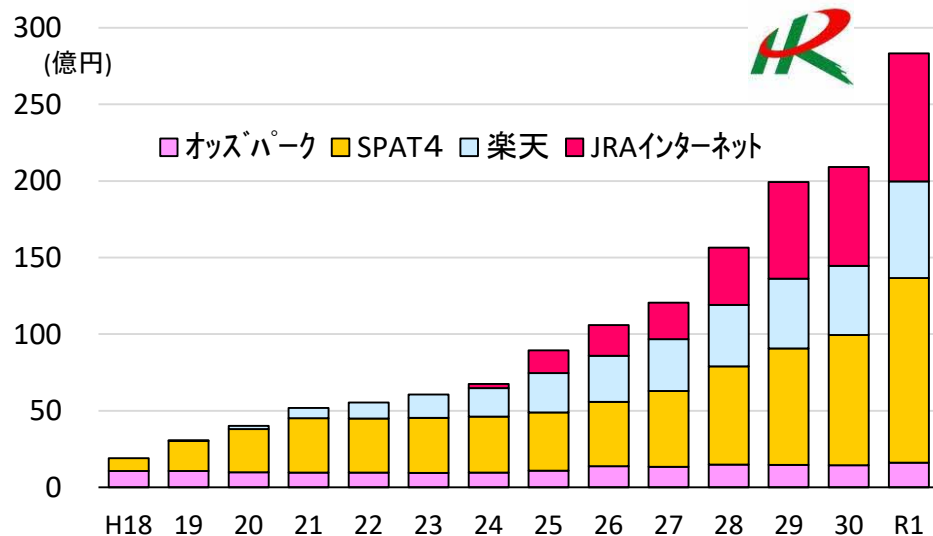
2 ネット投票、賭式的内訳

- ネットでの発売は現在4種用意している。
SPAT4での発売額が最も多く、H25年3月から参画した「JRAインターネット」も大きく増加。
- 馬券の買い方では、3連単が最も多い。
近年の傾向としては「ワイド」「単勝」「複勝」の割合が増加

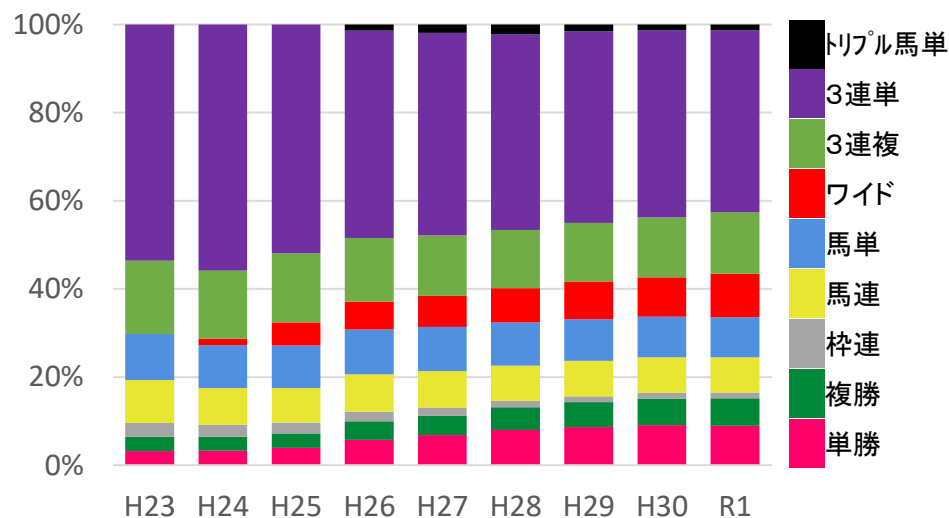
□ ホッカイドウ競馬の収入内訳



□ ネット投票額の内訳



□ 賭式別の発売割合



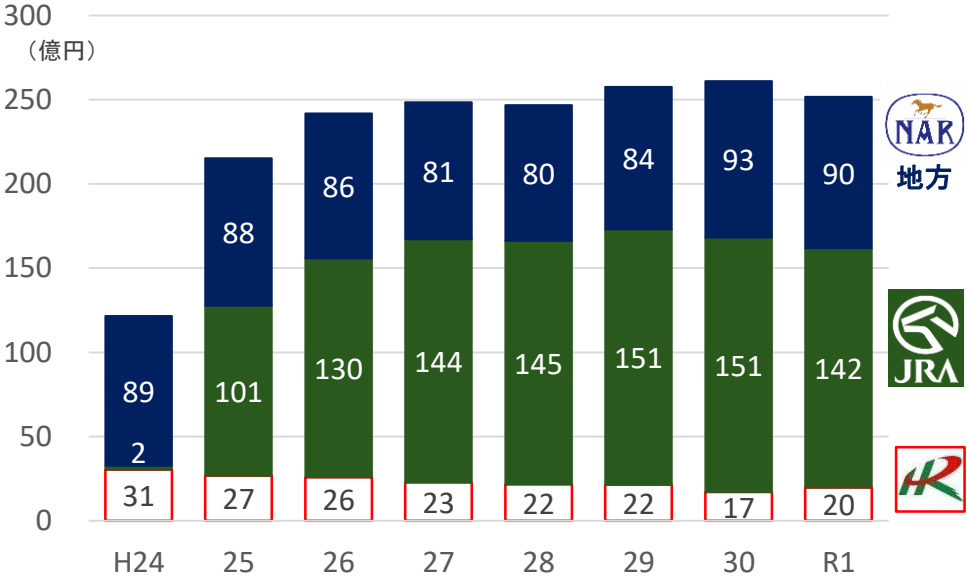
資料: 北海道軽種馬振興公社「競馬成績」

資料: 北海道軽種馬振興公社「競馬成績」

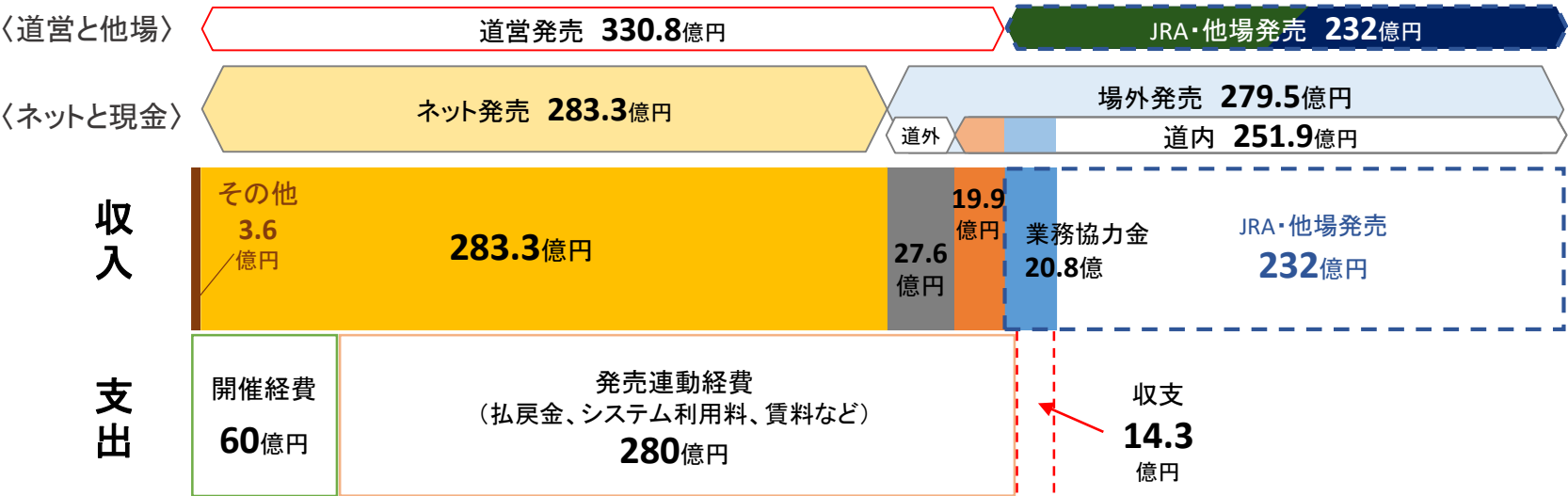
3 場外発売所の発売状況

- 場外発売所での発売額は、JRAや他の地方競馬、いわゆる「他場売り」が大半を占めている。
- 場外発売所で、他の主催者の馬券を販売すると、手数料である「業務協力金」の収入を得ることが出来る。
- H25以降、場外発売所でJRAを発売することにより、H24年度までは100億円台だった発売額が、一気に250億円まで拡大。
- これにより、業務協力金収入が増え、現在の単年度黒字の経営に繋がった。

□ 場外発売所での発売額



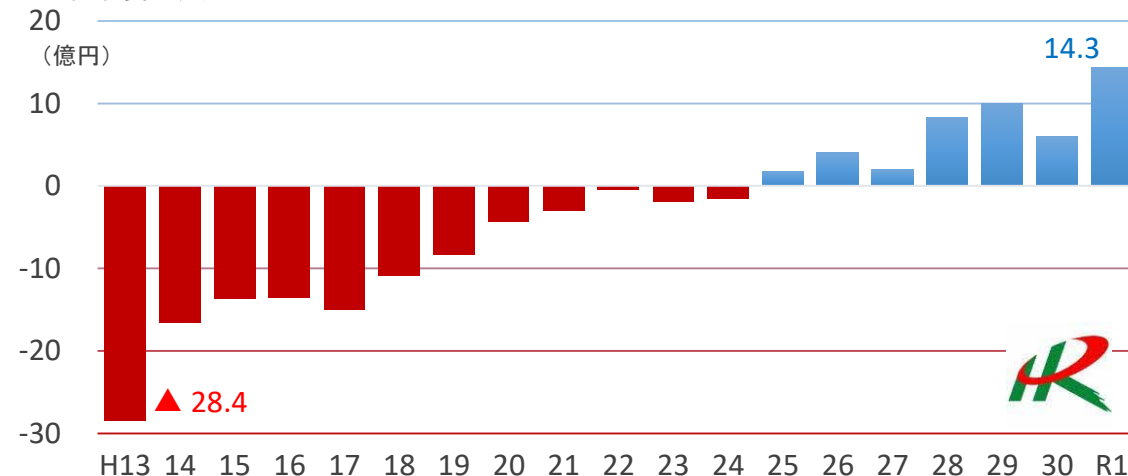
R1年度 ホッカイドウ競馬の収支構造イメージ



4 単年度収支・報償費

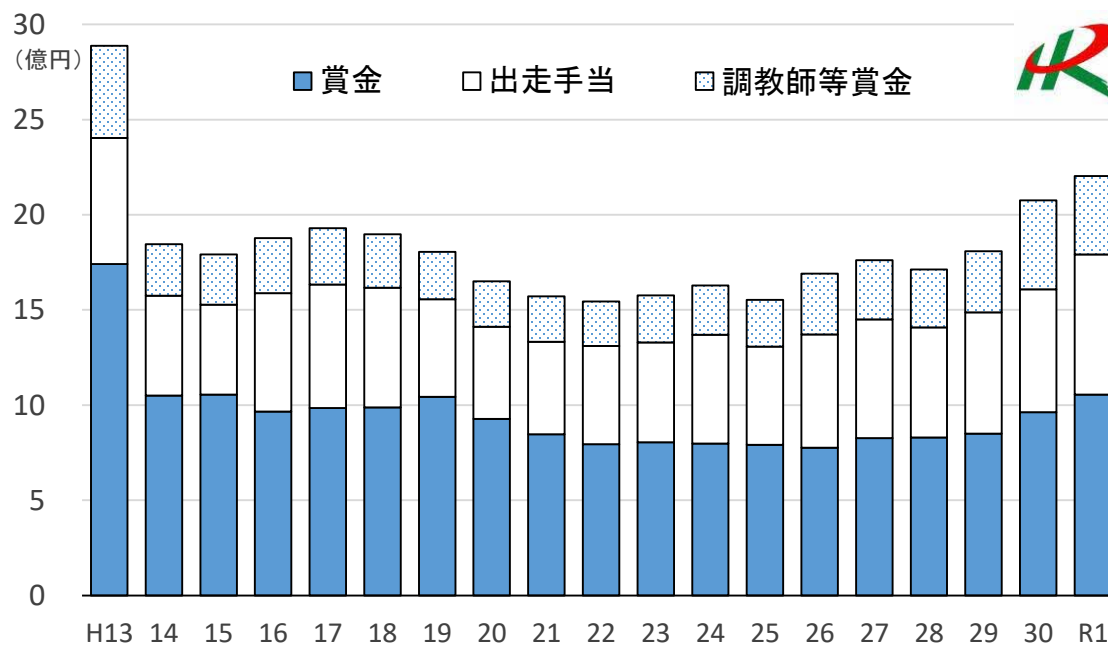
- H13年度以降、経費の削減や発売の確保等に努め、単年度収支の赤字額は年々減少。
- H25年度は22年ぶりの単年度収支の黒字化を達成。

□ 単年度収支



- H25年度までは、前年度の単年度収支が赤字であることから、なかなか賞金等を増額できなかったが、黒字化を達成して以降は、騎手・調教師や馬の確保のため、少しずつ報償費を増額している。

□ 報償費



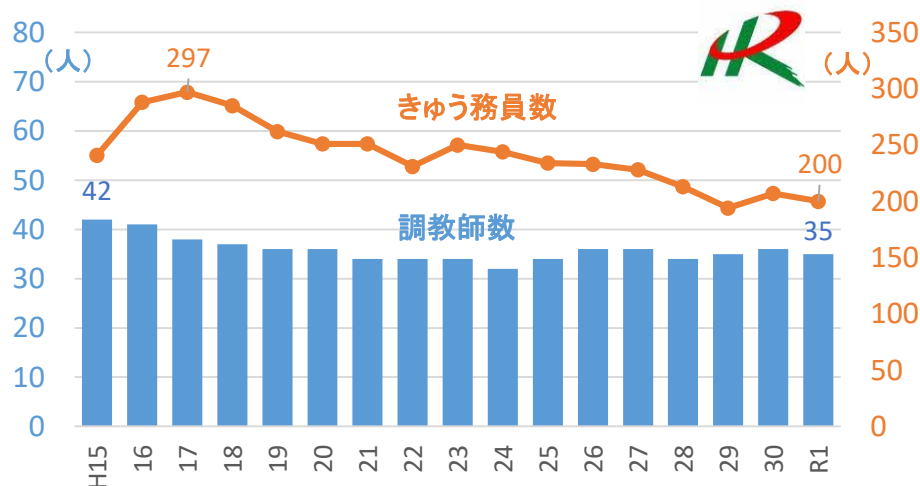
資料：北海道

IV 経営資源

1 関係者数(馬主、調教師、騎手、きゅう務員)

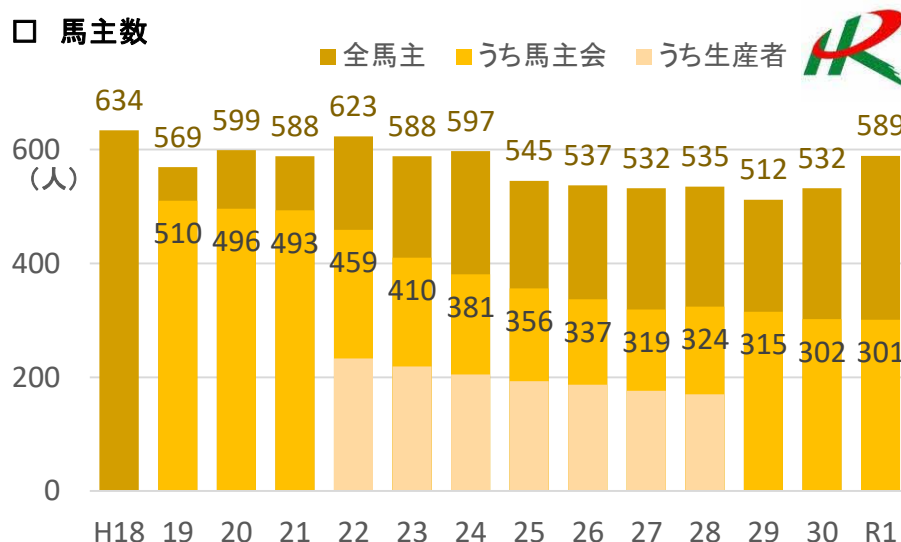
- 馬主数はH29までは減少傾向にあったものの、ここ数年は増加に転じている。一方、北海道馬主会の会員数は減少し続けている。
- 調教師数は横ばいで推移している。
- 騎手は減少傾向にあり、R2年4月現在18名と20名を下回り、騎手の確保が急務となっている。
- きゅう務員の人数は減少を続けており、近年は外国人を雇用することで人数を確保できている(R2.6.10現在、外国人は38名)。

□ 調教師ときゅう務員



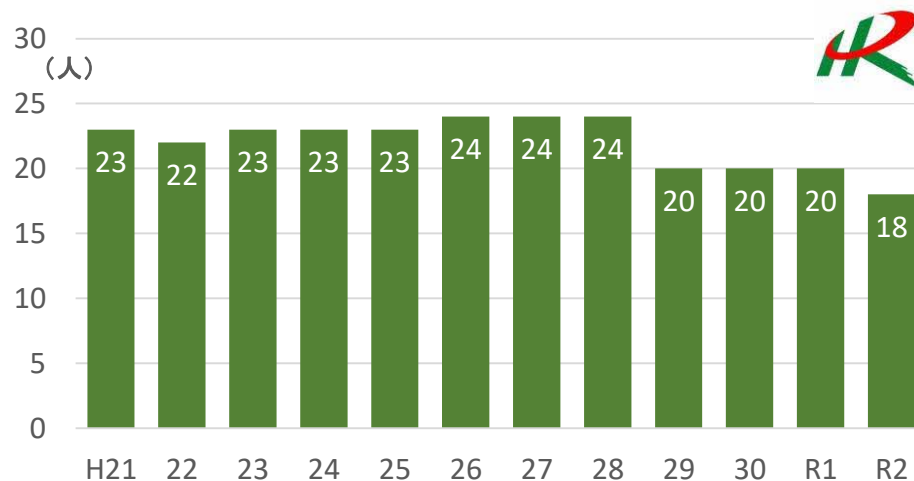
資料: 地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」

□ 馬主数



資料: 北海道軽種馬振興公社「競馬成績」、北海道馬主会総会資料

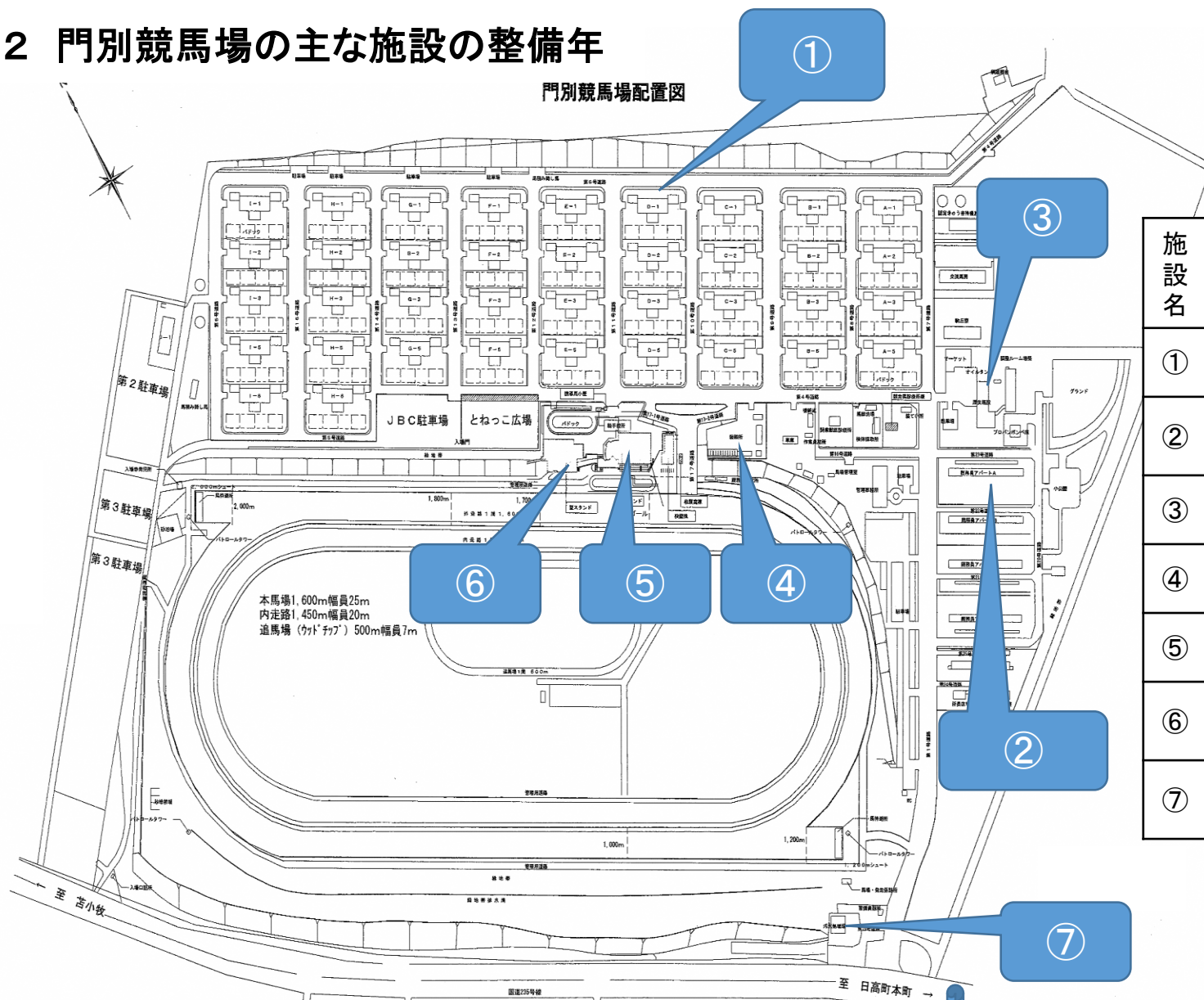
□ 騎手数



資料: 北海道軽種馬振興公社「競馬成績」

2 門別競馬場の主な施設の整備年

門別競馬場配置図



施設名	施設名	整備年
①	きゅう舎	S57～S60
②	厩務員等 アパート	S60
③	厚生施設	S57
④	装鞍所等	S57
⑤	旧スタンド	H9
⑥	ポラリス ドーム	H21
⑦	污水处理 施設	S57

○ 上記施設の更新が課題